

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】令和6年12月10日(2024.12.10)

【公開番号】特開2023-82833(P2023-82833A)  
 【公開日】令和5年6月15日(2023.6.15)  
 【年通号数】公開公報(特許)2023-111  
 【出願番号】特願2021-196799(P2021-196799)  
 【国際特許分類】  
 G 0 6 Q 1 0 / 1 0 ( 2 0 2 3 . 0 1 )  
 【 F I 】  
 G 0 6 Q 1 0 / 1 0

10

【手続補正書】  
 【提出日】令和6年12月2日(2024.12.2)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

オンラインイベントの参加者が示すリアクションを検知して、その検知結果を可視化して提示するリアクション検知システムであって、

各参加者を撮影するカメラを有する端末装置と、

各参加者を撮影したカメラ画像を前記端末装置から取得して、各参加者のカメラ画像に基づいて、各参加者が示すリアクションが複数のリアクション種別のいずれに該当するかを検知して、参加者全員を対象にしたリアクションの状況を可視化した分析結果表示情報を生成するサーバ装置と、を備え、

30

前記サーバ装置は、

参加者全員を対象にした前記分析結果表示情報の表示モードとして、所定の前記リアクション種別が検知された程度を表すレベル情報を表示する第1のモードと、検知された前記リアクション種別ごとの比率を表す比率情報を表示する第2のモードとを設定し、前記第1のモードと前記第2のモードのいずれかに遷移させる操作部を有する分析結果表示画面を生成することを特徴とするリアクション検知システム。

【請求項2】

前記サーバ装置は、

参加者ごとのリアルタイムの前記リアクション種別の検知結果に基づいて、前記分析結果表示情報を生成することを特徴とする請求項1に記載のリアクション検知システム。

【請求項3】

40

前記サーバ装置は、

前記分析結果表示情報として、参加者全員を対象にしたポジティブなリアクションまたはネガティブなリアクションの程度を表すレベル情報を生成することを特徴とする請求項2に記載のリアクション検知システム。

【請求項4】

前記サーバ装置は、

さらに、オンラインイベントが終了した後に、前記分析結果表示情報として、オンラインイベントの各段階におけるリアクションの変化状況を表すグラフを生成することを特徴とする請求項1に記載のリアクション検知システム。

【請求項5】

50

前記サーバ装置は、  
前記リアクション種別として、対象とする参加者が示すリアクションが、集中、疲れ、納得、不満、および疑問のいずれであるかを判定することを特徴とする請求項 1 に記載のリアクション検知システム。

【請求項 6】

オンラインイベントの参加者が示すリアクションを検知して、その検知結果を可視化して提示する処理を情報処理装置により行うリアクション検知結果表示方法であって、

各参加者を撮影するカメラを有する端末装置から、各参加者を撮影したカメラ画像を取得し、

各参加者のカメラ画像に基づいて、各参加者が示すリアクションが複数のリアクション種別のいずれに該当するかを検知して、参加者全員を対象にしたリアクションの状況を可視化した分析結果表示情報を生成し、

参加者全員を対象にした前記分析結果表示情報の表示モードとして、所定の前記リアクション種別が検知された程度を表すレベル情報を表示する第 1 のモードと、検知された前記リアクション種別ごとの比率を表す比率情報を表示する第 2 のモードとを設定し、前記第 1 のモードと前記第 2 のモードのいずれかに遷移させる操作部を有する分析結果表示画面を生成することを特徴とするリアクション検知結果表示方法。

10

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明のリアクション検知システムは、オンラインイベントの参加者が示すリアクションを検知して、その検知結果を可視化して提示するリアクション検知システムであって、各参加者を撮影するカメラを有する端末装置と、各参加者を撮影したカメラ画像を前記端末装置から取得して、各参加者のカメラ画像に基づいて、各参加者が示すリアクションが複数のリアクション種別のいずれに該当するかを検知して、参加者全員を対象にしたリアクションの状況を可視化した分析結果表示情報を生成するサーバ装置と、を備え、前記サーバ装置は、参加者全員を対象にした前記分析結果表示情報の表示モードとして、所定の前記リアクション種別が検知された程度を表すレベル情報を表示する第 1 のモードと、検知された前記リアクション種別ごとの比率を表す比率情報を表示する第 2 のモードとを設定し、前記第 1 のモードと前記第 2 のモードのいずれかに遷移させる操作部を有する分析結果表示画面を生成する構成とする。

30

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、本発明のリアクション検知結果表示方法は、オンラインイベントの参加者が示すリアクションを検知して、その検知結果を可視化して提示する処理を情報処理装置により行うリアクション検知結果表示方法であって、各参加者を撮影するカメラを有する端末装置から、各参加者を撮影したカメラ画像を取得し、各参加者のカメラ画像に基づいて、各参加者が示すリアクションが複数のリアクション種別のいずれに該当するかを検知して、参加者全員を対象にしたリアクションの状況を可視化した分析結果表示情報を生成し、参加者全員を対象にした前記分析結果表示情報の表示モードとして、所定の前記リアクション種別が検知された程度を表すレベル情報を表示する第 1 のモードと、検知された前記リアクション種別ごとの比率を表す比率情報を表示する第 2 のモードとを設定し、前記第 1 のモードと前記第 2 のモードのいずれかに遷移させる操作部を有する分析結果表示画面を

50

生成する構成とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明によれば、オンラインイベントの参加者全員を対象にしたリアクションの状況を可視化した分析結果表示情報について、2つの表示モードを設定して、両モードを遷移可能にして、参加者などの利用者に提示される。これにより、オンラインイベントの参加者が示すリアクションの状況を利用者に提示する際に個人が特定されないことで、リアクション検知が行われていることを参加者が意識せずに済むため、参加者が自然に示すリアクションの状況を利用者が複数の表示態様で把握することができる。

10

20

30

40

50